

## 平成25年度「歴史と環境を学ぶ会」の事業報告

6月22日(土)に毎年恒例の「歴史と環境を学ぶ会」を開催しました。

本年度は、滋賀県の「湖南三山」と「苗村神社」を見学しました。

神戸市役所北側花時計前からバスで出発しました。阪神高速から名神高速に乗り、午前中に「苗村神社」の見学でした。今年は渋滞にまき込まれずに順調に移動できました。「苗村神社」では神主さんの楽しいトークで盛り上がり、神社の資料も頂きました。

予定時間より早めに着いていたのですが、見学時間が長くなってしまい、昼食時間が若干遅くなりました。昼食は「レストラン潮」にて美味しく頂きました。

昼食後は「善水寺」に移動し、平安時代に作られたという秘仏の本尊をはじめ、多々の重要文化財指定の仏像を拝見しました。

典型的ともいえる、天台密教仏堂の形式をもつ本堂の再建には7年の月日がかかったとのことでした。また、東側にある「百伝の池」には偉大な靈験があるとされ、最澄上人が桓武天皇の病氣平穩の祈禱を行なった靈水を献上したところ、たちどころに回復した。この縁によって「岩根山善水寺」の寺号を賜り、上質な水を求める人がたくさん訪れるようです。

その後、「常楽寺」にバスで移動し、ご住職からお話を頂きました。「常楽寺」は奈良時代中期に栄え、平安から鎌倉期には皇室の帰依を受け隆盛したが、火災で全焼した。同年に再興されたが、昭和の半ばごろから無住職時代が続き、寺内は荒れ果てていたという。現住職さんの職歴の話も楽しく、大いに盛り上がった。

「常楽寺」見学の後、「長寿寺」見学を行なった。同じ湖南市石部町にあり、「常楽寺」が西寺と呼ばれているのに対して、「長寿寺」は東寺と呼ばれ親しまれている。本堂は一度焼失したが、鎌倉時代には復興した。現住職は女性の方で、楽しいお話のあとに、コーヒーとお茶菓子を頂きました。

最終的に時間に余裕で出来たので、近くの「御上神社」にも参拝して帰路につきました。

最後になりましたが、多くの参加頂いた方々に心から感謝申し上げます。

---

日時:平成25年6月22日(土) 8:30~19:00

集合:神戸市役所北側花時計前 解散:三宮駅東ラウンドワン前

内容:湖南三山と苗村神社

常楽寺(じょうらくじ) 本堂・三重塔・仏画・仏像・彩色模様及び庭園

長寿寺(ちょうじゅじ) 本堂・絹本著色十六羅漢像・阿弥陀如来坐像・木造釈迦如来坐像他

善水寺(ぜんすいじ) 本堂・本尊の薬師如来をはじめ三十余軀の仏像及び庭園

苗村神社(なむらじんじや) 西本殿・東本殿・八幡社本殿・楼門・神輿庫・木造不動明王立像

参加費:会員-5000円 ・ 非会員-6500円

参加人数:会員20名・非会員5名 合計25名



常樂寺 本堂



長壽寺



常樂寺 三重塔



善水寺 本堂



苗村神社



善水寺 元水



苗村神社前にて集合



善水寺前にて集合